

事務事業名		みかもクリーンセンター余熱利用施設指定管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)					
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	クリーン推進課	
	政策	1 健康で安心して暮らせるまちづくり					担当係	施設係	担当課長名	山田 弘		
	施策	1 心と体の健康づくりの推進					新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	1 健康づくりの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	7746	一般	4	1	8	みかもクリーンセンター余熱利用施設指定管理事業						
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業			
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H21年度～H35年度		根拠法令 条例等	循環型社会形成推進基本法						
	実施方法		指定管理者		事業分類		その他市民に対する事業					
	リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
余熱を利用した温浴施設、温水プールの複合施設を活用するに当たり、民間ノウハウの活用により市の財政負担を軽減し、市民サービスを向上するべく、指定管理者により、民活手法を導入した維持管理運営を行う。			余熱を利用した温浴施設、温水プールなどからなる複合施設の維持管理・運営事業を指定管理者に委託した。								
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
施設利用者想定圏人口(10km圏内)			人	169,190	168,360	166,910	165,470	164,040			
維持管理運営業務委託(指定管理者)			一式	1	1	1	1	1			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
・市民の健康増進と交流促進 ・指定管理者の維持管理運営コスト ・施設を運用する際のエネルギー量、発生する環境負荷			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
事業者計画施設利用者数			人	230,281	230,281	230,281	230,281	230,281			
事業者施設利用収入見込額			千円	113,957	117,213	117,213	117,213	117,213			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
・施設が大いに利用されることで、市民の健康増進と交流促進が図れる。 ・設計、建設及び維持管理運営の包括委託で財政負担軽減を図る。 ・省エネ、省資源、環境負荷の低減を図る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
事業者施設利用者実績数			人	302,104	313,343	300,000	300,000	300,000			
事業者施設利用収入実績額			千円	86,840	89,322	117,213	117,213	117,213			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
・健康に関する知識を深め、健康づくりに取り組んでもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
健康づくりに取り組んでいる市民の割合			%	73.8	75.8	76.0	77.0	78.0			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	1,110	1,141	1,108	1,108	1,108			
	一般財源	千円	75,664	80,198	81,899	49,760	49,760			
	事業費計(A)	千円	76,774	81,339	83,007	50,868	50,868			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			指定管理料	76,774	指定管理料	81,339	指定管理料	83,007	指定管理料	50,868
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
	のべ業務時間	時間	360	700	700	500	500			
	人件費計(B)	千円	1,401	2,759	2,759	1,971	1,971			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	78,175	84,098	85,766	52,839	52,839			

B表(事後評価シート)

事務事業名	みかもクリーンセンター余熱利用施設指定管理事業	担当部	市民生活部	担当課	クリーン推進課	担当係	施設係
-------	-------------------------	-----	-------	-----	---------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	<ul style="list-style-type: none"> 平成15年度の新清掃センター建設用地決定に伴い、地域振興事業として新清掃センターの余熱を利用した温浴施設・プール等を整備することになった。 財政負担の縮減、民間ノウハウの活用によるサービスの向上を目的に民間手法(DBO方式)を導入し、指定管理者を置いた維持管理運営とする。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化社会の進行により、市民の健康増進・介護予防等への意識がますます高まっていくことから、本施設はその健康増進拠点施設としての役割を担うことになる。 基本設計をふまえ、設計・建設費の設定、市債や補助金等の財源確保、施設の維持管理運営内容等の詳細を検討してきたが、地域還元施設として、地元住民の要望を大きく乖離しないよう、十分調整しながら計画を策定する必要がある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	<ul style="list-style-type: none"> 市民からは、16年度の「佐野市新清掃センター建設委員会」、17年度の「余熱利用施設検討委員会」を通して、福祉面に配慮されたお風呂、プール等の施設機能の充実などを要望されており、これらを十分に活かした運営メニューの充実が望まれる。 地元住民からは、地域還元施設として、施設運営への関わり、雇用機会確保などについて要望が出されている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	利用料金、利用体系の見直し案の取りまとめ。
事業のやり方改善(コストの見直し)	指定管理料に影響する光熱水費削減のため、基本使用水量の設定による節水対策や空調の温度管理及び館内照明をLED照明へ交換し節電対策を行った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	施設コンセプト「ふれあいの湯」、「やすらぎの湯」、「創建の湯」をもとに、市民の健康増進及びやすらぎ施設としてプール・温浴施設等の運営をすることから、本政策体系に結び付く。 ・周辺の自然環境との共生を目指し、安全かつ適正なごみ処理施設建設にあたり、円滑な事業推進を図るために実施する事業であるとともに、ごみ焼却処理施設の余熱エネルギーの有効利用を図ることで、省エネ、省資源、環境負荷の低減を図ることができ、「循環型社会の実現」の政策にも資する。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	・サーマルリサイクルを実践し、環境負荷の低減施設であることを市民にPRするとともに、身近な運動施設、リフレッシュできる施設、健康増進と福祉の観点から年齢を問わず市民の誰もが気軽に利用できる施設とすることから、公共性が高く、民間の温浴施設(スポーツジム、銭湯等)と区別される。 ・新清掃センター建設に伴う地域振興事業としての地元還元施設であることから、地元住民の要望を十分に汲んで事業に反映しなければならず、公共関与は必然である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・市民(利用者)あつての施設であり、同時に市民の健康増進と交流促進が実現する。 ・設計、建設から維持管理運営までの長期包括委託として財政負担の軽減が図れ、民間ノウハウを活用した市民サービスの向上を図ることができる。 ・本施設の温浴施設の熱源として焼却余熱を利用することで、新たに熱源を利用しない「省エネ、省資源、環境負荷低減」を図ったサーマルリサイクル施設を実現する。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	・適正な施設利用料金や利用形態の見直しを指定管理者と共に行っていくことで、維持管理運営委託費の財政負担を減らす。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名 ・アリーナためま等指定管理事業、茂呂山老人福祉センター指定管理事業 ・余熱利用施設はスポーツ施設と温浴施設を備えた総合施設であり、それぞれの類似施設とは隣接していないため、利用者の対象からすると統合や連携はできない。
	*類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	・適正な施設利用料金の算出及び利用体系の見直しにより事業費の削減余地がある。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・現在の利用料金では市からの財政補填が大きいいため、施設利用者(受益者)からの相当分の負担を検討していかななくてはならない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		事業期間の終了。

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
受益者負担の適正化 事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①施設の利用料金の適正化を図る。 ②施設の利用形態の適正化を図る。 ③電気、上下水道使用量の削減を図る。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td>③</td> <td>①②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上	③	①②		維持			×	低下		×	×	利用料金を適正化することにより、利用者の財政的負担が増える。このことにより利用者の減少が予想される。 サービスの向上やプログラムの改善等を行い、利用者の減少を防ぐ。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上	③	①②																				
維持			×																			
低下		×	×																			